



九州大学

九州大学広報室

〒812-8581 福岡市東区箱崎 6-10-1

TEL:092-642-2106 FAX:092-642-2113

MAIL:koho@jimu.kyushu-u.ac.jp

URL:http://www.kyushu-u.ac.jp

PRESS RELEASE (2010/11/17)

第1回九州大学最先端有機光エレクトロニクス研究センター(OPERA)市民科学講座 ～OPERA Christmas Science Lecture～の開催について

概 要

九州大学最先端有機光エレクトロニクス研究センター(OPERA:オペラ)では、12月11日(土)に、さいとぴあ(福岡市西部地域交流センター)で、主に中学生や高校生を対象とした市民向けの科学講座「OPERA クリスマス・サイエンス・レクチャー」を開催します。

第1回目となる今回は次世代のディスプレイや照明として期待されている「光る、曲がる、軽い、夢の技術(有機EL)の魅力」について、この分野の世界的第一人者である安達千波矢教授が楽しく分かりやすくご紹介します。なお、OPERA 市民科学講座は、今後も「国民との科学・技術対話」の推進活動の一環として、毎年この時期に開催していきます。

■背 景

九州大学最先端有機光エレクトロニクス研究センター(Center for Organic Photonics and Electronics Research:OPERA)は、昨年、日本の先端的研究のトップ30を支援する「内閣府最先端研究開発支援プログラム」に採択された九州大学の安達千波矢教授の研究開発を推進する組織として、本年4月に九州大学伊都キャンパスに設立されました。当センターでは活発な研究開発と同時に、産官学連携による産業化技術の展開、研究開発の内容の普及、将来の科学技術を担う人材育成までを視野に入れて幅広い活動を展開しています。

また、本年6月、同プログラムの制度設計や審査を行った国の内閣府・総合科学技術会議では、「国民との科学・技術対話」の重要性を指摘しています。すなわち、科学・技術の優れた成果を絶え間なく創出し、我が国の科学・技術をより一層発展させるためには、科学・技術の成果を国民に還元するとともに、国民の理解と支持を得て、共に科学技術を推進していくことが不可欠であり、研究活動の内容や成果を社会・国民に対して分かりやすく説明する、未来への希望を抱かせる心の通った双方向コミュニケーション活動を積極的に推進する必要があります。

この趣旨を受け、当センター(OPERA)では、「国民との科学・技術対話」への取組の一環として、市民、特に若い世代を対象とした科学講座を毎年一回この時期に「OPERA クリスマス・サイエンス・レクチャー」として開催いたします。

■内 容

第1回目となる今回は、次世代のディスプレイや照明として期待されている「光る、曲がる、軽い、夢の技術(有機EL)の魅力」について、この分野の世界的な第一人者である安達千波矢教授、その最先端の研究現場で日夜研究に取り組んでいる大学院生、そして世界で初めて有機ELテレビを製品化したソニー株式会社の第一線で活躍中の若い研究者が、楽しく、分かり易く、最先端の研究の話題をご紹介します。

【開催概要】

- ①開催名称:第1回九州大学最先端有機光エレクトロニクス研究センター(OPERA)市民科学講座
～ OPERA Christmas Science Lecture ～
- ②開催日時:平成22年12月11日(土)14:00～17:00
- ③開催場所:「さいとぴあ」福岡市西部地域交流センター
(福岡市西区大字女原/JR筑肥線「九大学研都市駅」前)
- ④参加対象:一般市民(主に中学生から高校生向け、保護者同伴の小学生も可)

⑤参加定員:先着300名(参加費:無料)

⑥申込方法:当センター(OPERA)にe-mailかFAXによる事前申込(12月3日(金)締切)

(申込状況により当日の参加も可)

⑦プログラム:(1)安達千波矢教授による講演「有機ELが拓く新しいエレクトロニクスの世界へ」

・有機ELをはじめ私達の未来を変える最先端の研究「有機エレクトロニクス」の紹介

(2)ソニー株式会社による講演「テレビは変わる～テレビを変えるソニーの技術～」

・現在開発中の「曲げられるディスプレイ」等の技術を紹介

(3)九州大学大学院生による講演「学生の学生による学生のための研究室現場リポート」

・学生独自の視点から研究室の様子や研究者の日常をレポート

⑧主 催 九州大学最先端有機光エレクトロニクス研究センター(OPERA)

⑨共 催 九州大学未来化学創造センター、福岡市、(財)九州先端科学技術研究所(ISIT)、
(財)九州大学学術研究都市推進機構(OPACK)

⑩後 援 福岡県、糸島市、福岡県教育委員会、福岡市教育委員会、糸島市教育委員会

※なお、本催事は、JST 地域ネットワーク支援(地域の科学舎)推進事業

「Science for All Fukuokans ネットワーク(SAFnet)の構築」の一環です。

■効 果

当センター(OPERA)では、その研究成果により、九大学研都市を中心とする福岡地区がアジアを代表する世界的な有機エレクトロニクス産業の研究開発拠点へと大きく成長展開していく将来像を見つめながら活動しています。この「OPERA クリスマス・サイエンス・レクチャー」の開催は、周辺地域住民はもとより、市民の科学への関心、理解を深めるとともに、未来を担うこども達・若者達が科学への興味、研究者への憧れ、未来への希望を抱かせる「科学のまちづくり」にも貢献する研究センターとなることを目指して、最先端の研究開発の現場からメッセージを発する趣旨を込めています。

■今後の展開

この市民科学講座は、毎年、クリスマスシーズンに九州大学伊都キャンパス周辺ないしは福岡市内において開催することを計画しています。

最先端研究の現場から、こども達をはじめとする市民の皆様に「科学のクリスマスプレゼント」を届けながら、科学の交流の場として大切に育てていきたいと考えています。

【用語解説】

有機EL:有機EL(エレクトロ ルミネッセンス)Organic Electro Luminescence

EL(Electro Luminescence)は電気による発光を意味します。有機物が光を発する身近な例として、蛍やクワゲの発光があります。有機ELとは、電気エネルギーにより有機化合物が発光する現象を示す言葉です。有機ELは、自発光、抜群の視認性、高画質、低消費電力、フレキシブル性などの特長があり、既に携帯電話などへの利用が始まっており、今後も次世代の高性能ディスプレイ、照明、デジタルサイネージなどの分野で、世界中で研究開発が展開され、21世紀の環境適応型技術として広く利用されると大変期待されています。

【お問い合わせ】

九州大学最先端有機光エレクトロニクス研究特別支援室

室長 筒井哲夫

産学連携・知財グループ 三宅宏治

電話: 092-802-6920

FAX: 092-802-6921

Mail: opera@cstf.kyushu-u.ac.jp



OPERA



Christmas Science Lecture

Dec 11, 2010 14:00~17:00

@さいとぴあ(JR九大学研都市駅前)



次世代ディスプレイや照明として期待されている「光る、曲がる、軽い、夢の技術(有機EL)の魅力」について、この分野の世界的な第一人者である九州大学安達教授とその研究現場の最前線で日夜研究に取り組んでいる大学院生、そして世界で初めて有機ELテレビを製品化したソニー(株)の研究者が楽しく、分かり易く、最先端の研究を紹介します。

第1回九州大学最先端有機光エレクトロニクス研究センター(OPERA)市民科学講座

開催日時：平成22年12月11日(土)14:00~17:00

開催場所：「さいとぴあ」福岡市西部地域交流センター(JR筑肥線「九大学研都市駅」前)

参加対象：一般市民(主に中学生から高校生、保護者同伴の小学生も可)

参加定員：先着300名(参加費：無料)

主催：九州大学最先端有機光エレクトロニクス研究センター

(Center for Organic Photonics and Electronics Research:OPERA)

共催：福岡市、(財)九州大学学術研究都市推進機構(OPACK)、

(財)九州先端科学技術研究所(ISIT)、九州大学未来化学創造センター

後援：福岡県、福岡県教育委員会、福岡市教育委員会、糸島市、糸島市教育委員会

※本催事は、(独)科学技術振興機構(JST)地域ネットワーク支援(地域の科学舎)推進事業「Science for All Fukuokansネットワーク(SAFnet)の構築」の一環です。



オペラ クリスマスサイエンスレクチャー

九州大学最先端有機光エレクトロニクス研究センター(OPERA)では、市民の皆様、特に若い世代を対象とした科学講座を毎年一回、クリスマスシーズンに「OPERA クリスマス・サイエンス・レクチャー」として開催いたします。

市民の科学への関心、理解を深めるとともに、未来を担うこども達・若者達が、科学への興味、研究者への憧れ、未来への希望を抱かせる「科学のまちづくり」に貢献する研究センターを目指して、最先端な研究開発の現場からのメッセージとして「科学のクリスマスプレゼント」をお届けしながら、科学の交流の場として大切に育てていきたいと考えています。
第1回目となる今回は主に中学生・高校生向けに夢の技術「有機EL」をご紹介します!!

● 安達 千波矢あだち ちはや(九州大学教授)

「有機ELが拓く新しいエレクトロニクスの世界へ」

今、エレクトロニクスが大きく変わろうとしています。人間の身体をはじめ、多くの工業製品は、プラスチックなどの有機物で作られています。そして、今、その有機物の多様性を活かした「新しいエレクトロニクス」が世界中の人々を驚かせています。

今回は、**光る・曲がる・軽い、夢の技術「有機EL」**をはじめ、未来を変える最先端の研究“有機エレクトロニクス”について、わかりやすく、楽しく、紹介します。



3次元立体
有機ELディスプレイ

● 藤森 隆成ふじもり たかしげ(ソニー株式会社)

「テレビは変わる ～テレビを変えるソニーの技術～」

液晶、プラズマに次ぐ次世代テレビとして注目されている有機ELディスプレイ。ソニーでは2007年に世界で初めてテレビとして製品化しました。この有機ELの魅力を、現在開発中の「**巻き取れるディスプレイ**」等の技術とともに紹介します。



● 隅野 真央(九州大学) 荒井 俊晴(九州大学)

「学生の学生による学生のための研究室現場レポート」

何故、理系を選択し、九州大学工学部を目指したのか? そのきっかけから、生の最先端の研究室の様子や**研究者の赤裸々な日常**まで、学生独自の視点から、幅広く、楽しく、ご紹介していきます。理系学生の面白さ満載のトークです。



● 体験コーナー「有機ELの世界を体験～有機ELに触れてみよう～」

有機EL材料を実際に発光させてみたり、発光させたまま曲げてみます。
また、携帯電話やテレビなど、これまでの有機ELを使った製品を展示します。



有機ELって?

有機EL (エレクトロ ルミネッセンス)
Organic Electro Luminescence

EL (Electro Luminescence)は電気による発光を意味します。有機物が光を発する身近な例として、蛍やクラゲの発光があります。有機ELとは、電気エネルギーにより有機化合物が発光する現象を示す言葉です。有機ELは、自発光、抜群の視認性、高画質、低消費電力、フレキシブル性などの特長があり、既に携帯電話などへの利用が始まるなど、今後も次世代の高性能ディスプレイ、照明、デジタルサイネージ(電子看板)などの分野で、世界中で研究開発が行われ、21世紀の環境適応型技術として広く利用されると期待されています。

お問合せ・申込み先

氏名、年齢(学校名・学年)、ご連絡先(TEL、FAX、E-mail)を記載の上、FAXまたは、E-mailにて、当センターにお申込み下さい。

締切 平成22年12月3日(金)

TEL 092-802-6920 FAX 092-802-6921

E-mail opera@csff.kyushu-u.ac.jp

九州大学 最先端有機光エレクトロニクス研究センター
〒819-0395 福岡市西区元岡744番地

